

兵庫県

定数：15名

立候補者数：19名



氏名 森沢 知之
氏名ふりがな もりさわ ともゆき
都道府県士会 兵庫県
年齢 50
勤務先名称 神戸リハビリテーション病院

日本理学療法協会活動歴

都道府県理学療法士（協）会活動歴

2012年～2016年：システム管理部部員
2016年～2019年：学会運営部部長
2025年～現在：理事

学会連合及び同連合会員団体活動歴

2014年～2021年：日本心管理理学療法学会 運営幹事
2015年～現在：理学療法学編集委員会
2021年～現在：日本循環器理学療法学会 理事〔総務委員長（2021－2024）
循環器病対策委員会委員長（2024－）〕

立候補の趣旨

医療・介護・疾病予防の現場は急速に変化しており、理学療法士に求められる役割も多様化・高度化しています。理学療法士がこれまで以上に専門性を発揮し、安心して、また誇りをもって働き続ける環境づくりに貢献したいと考え、代議員に立候補いたしました。

これまでの臨床（急性期病院・回復期リハビリ病院）、教育、研究、社会貢献の経験を活かし、理学療法士の未来のために精一杯尽力する所存です。



氏名 岩田 健太郎

氏名ふりがな いわた けんたろう

都道府県士会 兵庫県

年齢 48

勤務先名称 神戸市立医療センター中央市民病院

日本理学療法協会活動歴

2017年 日本理学療法士協会 管理運営部門運営幹事
2023年 第60回日本理学療法学会 副準備委員長
2024年 日本理学療法士協会 令和8年度診療報酬改定に向けた検討会 構成員

都道府県理学療法士（協）会活動歴

2015年 兵庫県理学療法士協会 卒後教育部 部長
2021年 兵庫県理学療法士会 理事
2025年 兵庫県理学療法士会 副会長

学会連合及び同連合会員団体活動歴

2023年 日本理学療法管理学会 理事

立候補の趣旨

現在、日本の医療制度は大きな転換期にあり、地域医療構想の深化、医療DXの推進、診療報酬制度の見直しなどにより、医療提供体制そのものが再編されつつあります。リハビリテーション医療も例外ではなく、今後の制度設計のあり方によって、理学療法士の役割や社会的評価は大きく左右される局面にあると感じています。

私はこれまで臨床現場、人材育成、組織運営に携わる中で、現場の実態と制度設計との間に隔たりを感じる場面を経験してきました。代議員には、会員の声を丁寧にすくい上げ、協会内の議論や対外的な発信に反映させていく役割が求められていると考えています。微力ではありますが、現場に根ざした視点から、協会運営や政策提言に関する議論に誠実に関わっていきたくと考え、立候補を決意しました。

特に若手会員にとって、今後の制度改正や職域の変化は将来に直結する重要な問題です。安心して学び続け、臨床に専念できる環境を守ることは、協会の重要な責務であり、その実現に向けた議論に若い世代の声が十分に反映されることが必要だと感じています。また、協会が社会から信頼され続けるためには、運営の透明性や説明責任といったガバナンスのあり方についても、会員の立場から継続的に考えていくことが大切だと考えています。

理学療法の専門性と社会的価値が今後も適切に評価されるよう、会員の一人として謙虚に学びながら、責任をもって役割を果たしていく所存です。



氏名 大垣 昌之
氏名ふりがな おおがき まさのぶ
都道府県士会 兵庫県
年齢 50
勤務先名称 尼崎だいもつ病院

日本理学療法協会活動歴

- ・ 2022年6月～2024年6月 公益社団法人日本理学療法士協会 代議員 (大阪府)
- ・ 2024年6月～現在 公益社団法人日本理学療法士協会 代議員 (兵庫県)

都道府県理学療法士(協)会活動歴

- ・ 2019年4月～2023年6月 一般社団法人高槻市理学療法士会 会長

学会連合及び同連合会員団体活動歴

- ・ 2015年9月～現在 一般社団法人日本地域理学療法学会 運営幹事・理事
- ・ 2021年8月～2025年7月 一般社団法人日本支援工学理学療法学会 評議員
- ・ 2022年10月～現在 一般社団法人日本神経理学療法学会 評議員

立候補の趣旨

この度、日本理学療法士協会の代議員に立候補致します。どうぞよろしくお願い致します。

日本理学療法士協会は、創立60周年という大きな節目を迎え、これまでの歩みを振り返るとともに、次の時代に向けた新たな挑戦が求められています。近年、医療・介護・福祉の現場は急速に変化し、理学療法士の役割も従来の枠を超えて多様化しています。地域包括ケアの推進、予防領域への参画、さらにはデジタル技術の活用など、私たちに求められる専門性はますます高度化し、広がりを見せています。こうした変化の中で、理学療法士が国民にとって「なくてはならない専門職」として確固たる地位を築くためには、個々の努力だけでなく、協会や都道府県士会が一体となり、組織としての力を最大限に発揮することが不可欠です。しかし現状では、協会や士会の活動に関心を持たない理学療法士も多く、組織の魅力や意義が十分に伝わっていないと感じています。私は、より多くの理学療法士が協会や士会に関心を持ち、参画し、魅力ある組織へと発展させていくことが必要だと考えています。

私自身、臨床・教育・管理の現場で培った経験を活かし、理学療法士の専門性向上と組織の活性化に貢献したいと思っています。現場の声を代弁し、協会活動をより身近で意義あるものにするため、皆様とともに取り組んでまいります。

ご支援よろしくお願い申し上げます。



氏名 樋笠 重和

氏名ふりがな ひがさ しげかず

都道府県士会 兵庫県

年齢 51

勤務先名称 西宮回生病院

日本理学療法協会活動歴

2020年度－現在 日本理学療法士協会代議員

都道府県理学療法士（協）会活動歴

2014年度－2018年度 兵庫県理学療法士会阪神南（尼崎） 支部ブロック長

2019年度 兵庫県理学療法士会阪神南（尼崎） 支部長

2019年度－2020年度 兵庫県理学療法士会局長（支部担当）

2021年度－現在 兵庫県理学療法士会理事

学会連合及び同連合会員団体活動歴

立候補の趣旨

私はこれまで、兵庫県理学療法士会にて支部の運営に携わって参りました。尼崎市における地域包括ケアシステムの構築と会員の資質向上を念頭に支部長を務め、現在は支部担当理事として県士会活動に従事しております。地域支援や学校保健に関わる活動にも会員と共に取り組み、着実に歩みを進めているところです。

私は、地域で交わされる議論や会員の声を日本理学療法士協会に届け、協会からの情報を的確に兵庫県理学療法士会へ還元できるよう尽力いたします。会員各位、各地域、県士会、そして協会が強固につながるよう、架け橋として努めて参る所存です。



氏名 間瀬 教史
氏名ふりがな ませ きょうし
都道府県士会 兵庫県
年齢 60
勤務先名称 甲南女子大学看護リハビリテーション学部

日本理学療法協会活動歴

平成17年～平成27年 代議員
平成27年～平成29年 理事、学会運営審議会審議員
平成28年～平成29年 臨床実習の手引き作成特別委員会委員長
令和2年～現在に至る 認定・専門理学療法士制度部会長

都道府県理学療法士（協）会活動歴

平成7年～現在に至る 理事
平成25年～令和3年 副会長
令和3年～現在に至る 会長

学会連合及び同連合会員団体活動歴

令和3年～現在に至る 日本呼吸理学療法学会監事

立候補の趣旨

兵庫県理学療法士会の会長として、会員の資質向上、政治・職能活動による会員の働く環境の改善・拡大を目指して、さまざまな組織・事業改革に取り組んでまいりました。今後も研修体制、会員の負担軽減、組織強化などを目的に、更なる改革を進めるよう活動しております。

日本理学療法士協会（以下協会）は、現在、大きな変革の時期にきていると考えています。協会の対応すべき事業内容は大きく広がり、活動量もさらに多くなってきております。また、生涯学習制度、政治活動など都道府県理学療法士会とのかかわりが特に重要な内容も増えてきております。今後さらに協会との関係を密にし、会員の先生方にとってより良い協会・士会活動を構築していきたいと考えております。これらのさらなる発展・実行を目指し、代議員に立候補いたしました。どうぞよろしくお願い申し上げます。



氏名 熊谷 陽造
氏名ふりがな くまがえ ようぞう
都道府県士会 兵庫県
年齢 48
勤務先名称 公立神崎総合病院

日本理学療法協会活動歴

2024年～ 日本理学療法士協会 代議員

都道府県理学療法士（協）会活動歴

役員歴

2019年～2023年 兵庫県理学療法士会研修部部長
2023年 第34回兵庫県理学療法学術大会準備委員長
2023年～ 兵庫県理学療法士会 理事

学会連合及び同連合会員団体活動歴

立候補の趣旨

私は2023年度より兵庫県理学療法士会において学術局担当理事を務め、学術活動の推進に携わってまいりました。
2022年度より開始された新生涯学習制度は、現在大きな見直しが進められています。この変革は、日本理学療法士協会の尽力だけでなく、現場で働く会員の声を代議員が丁寧に届けてきた結果であると考えています。今後も制度がより実践的で価値あるものとなるよう、会員の意見を反映し続けることが重要です。
また、兵庫県理学療法士会では、効率的な運営体制の見直しにより会費減額が実現しました。日本理学療法士協会においても、受益者負担の考え方を踏まえつつ、生涯学習制度のさらなる改善を含め、会費の適正化を進める余地があると考えています。
私は、会員の声を協会運営に確実に届け、理学療法士としての専門性を最大限に発揮できる環境づくりに尽力してまいります。何卒お力添えのほど、よろしくお願い申し上げます。



氏名 稲葉 智洋
氏名ふりがな いなば ちひろ
都道府県士会 兵庫県
年齢 28
勤務先名称 訪問看護ステーションおはあさ

日本理学療法協会活動歴

都道府県理学療法士（協）会活動歴

兵庫県理学療法士会神戸（西）支部運営委員 2023.4～2025.3
兵庫県理学療法士会神戸（東）支部運営委員 2025.4～現在に至る

学会連合及び同連合会員団体活動歴

立候補の趣旨

理学療法士を取り巻く環境が大きく変わる中、次世代を担う若手の視点から協会の未来に貢献したいと考え、立候補を決意いたしました。
回復期病院から訪問リハビリへとフィールドを移し、生活期における理学療法の価値と、現場の疲弊や職能の確立といった課題を日々実感しています。
県士会での3年間の運営委員経験を土台とし、現場の最前線にいる者の視点で、日本協会の事業計画や予算が真に会員や患者様・利用者様のためになっているかを吟味する役割を果たします。
兵庫県の会員の皆様の代表として、責任を持って一票を投じ、職能の地位向上と質の高いリハビリ提供の基盤づくりに尽力してまいります。



氏名 木澤 清行
氏名ふりがな きざわ きよゆき
都道府県士会 兵庫県
年齢 49
勤務先名称 リハビリ訪問看護ステーション 薔

日本理学療法協会活動歴

都道府県理学療法士（協）会活動歴

1999年	兵庫県理学療法士会	神戸（東）ブロック運営委員
2005年	兵庫県理学療法士会	神戸（東）ブロック長
2014年	兵庫県理学療法士会	卒後教育部長
2016年	兵庫県理学療法士会	総務部長
2019年	兵庫県理学療法士会	理事
2021年～現在	兵庫県理学療法士会	副会長・理事

学会連合及び同連合会員団体活動歴

立候補の趣旨

私はこれまで、一般社団法人兵庫県理学療法士会の運営に携わりながら、臨床現場、とりわけ訪問・在宅領域における理学療法士の役割の変化を実感してまいりました。医療提供体制が病院中心から地域・在宅へ移行する中、理学療法士は訪問看護ステーションや在宅医療の現場において、ますます重要な役割を担っています。一方で、訪問・在宅分野は小規模事業所が多く、卒後教育や臨床の質の担保、相談体制の整備が十分とは言えず、現場で孤立しながら判断を迫られている理学療法士も少なくありません。こうした課題は、個々の努力だけでは限界があり、職能団体としての関与と支援が不可欠であると考えています。また、日本理学療法士協会の組織率低下は、訪問・在宅領域において特に顕在化している問題です。「協会に所属することで現場がどう変わるのか」を、実感をもって示していくことが、今後の協会運営には求められています。さらに、物価高騰や人材不足が進む中、理学療法士の専門性に見合った処遇や評価についても、在宅・訪問の実情を踏まえた議論と社会への発信が必要です。私は、訪問・在宅の現場で働く理学療法士の声を協会に届け、制度や支援につなげる役割を担いたいと考え、代議員に立候補いたしました。現場に根ざした議論を重ね、理学療法士が地域で安心して働き続けられる環境づくりと、職域の発展、社会的認知の向上に取り組んでまいります。



氏名 鈴木 佑弥
氏名ふりがな すずき ゆうや
都道府県士会 兵庫県
年齢 39
勤務先名称 リハビリ訪問看護ステーション 薔

日本理学療法協会活動歴

都道府県理学療法士（協）会活動歴

2019年度～2021年度：一般社団法人兵庫県理学療法士会 広報部 部員
2019年度～2020年度：一般社団法人兵庫県理学療法士会 ICT/DX推進検討委員会 委員
2022年度～現在：一般社団法人兵庫県理学療法士会 デジタル業務支援部 部長
2024年度～現在：一般社団法人兵庫県理学療法士会 神戸（東）支部 代議員

学会連合及び同連合会員団体活動歴

立候補の趣旨

私は士会業務でITツールを実務に活用し、組織全体が無理なく運用できる環境整備に注力してきました。現場の負担を抑え、業務が継続する形を常に意識し、実効性のあるDXを推進しております。

【代議員としての展望】

実務経験に基づく提案：県士会でのシステム構築実績を基に、協会運営においても効率的で、携わる方の負担を抑える仕組み作りを提案します。

在宅リハの視点：訪問看護の現場から、施設・職種間の情報共有の課題を整理し、地域の方々の想いをカタチにする環境を整えます。

組織の課題解決：役員として把握した現場固有の問題を、広い視点から分析し具体的な解決策を模索します。

【人材育成と貢献】

私の軸は、病院、施設や法人内で自ら効率化を推進できる人材を増やすことです。これが理学療法士の価値向上に直結すると確信しています。これまで培ってきたDXの実務経験とITの知識を、最大限、日本理学療法士協会に還元いたします。



氏名 小山 長
氏名ふりがな こやま たける
都道府県士会 兵庫県
年齢 50
勤務先名称 新須磨病院

日本理学療法協会活動歴

平成28年～令和7年（5期） 公益社団法人 日本理学療法士協会 代議員

都道府県理学療法士（協）会活動歴

平成18年 一般社団法人 兵庫県理学療法士会 神戸（西）ブロック ブロック長
平成27年～令和7年（6期） 一般社団法人 兵庫県理学療法士会 理事

学会連合及び同連合会員団体活動歴

立候補の趣旨

私は平成27年度に兵庫県理学療法士会の理事として当選し、これまで士会の運営に関わってきました。
日本理学療法士協会は、理学療法士の職域拡大、質の向上、処遇改善などの課題に取り組まれています。しかし、これらの事業を都道府県理学療法士会に落とし込む際、必ずしも協会の想う形で浸透しているわけではありません。協会の施策が会員にとって意義のある形で浸透するためには、協会と士会における双方向の情報交換であると思います。兵庫県理学療法士会では、各支部の当士会代議員から士会活動に関する意見集約を行いました。ここで交わされた意見の中には、生涯学習制度や会費などの意見もみられました。このように会員の意見を協会に伝えることで協会の施策を調整し、よりよい形で浸透することができればと感じております。
私は士会と協会との間における双方向の関りを強化し、迅速な対応力と機能性を有した士会づくりの一助となるべく、代議員選挙に立候補致します。



氏名 畠中 弘太
氏名ふりがな はたなか こうた
都道府県士会 兵庫県
年齢 30
勤務先名称 トレーニング・デイサービス ブ
ルーム蓄 神戸駅前

日本理学療法協会活動歴

都道府県理学療法士（協）会活動歴

令和5年～現在 (一社)兵庫県理学療法士会 デジタル業務支援部 部員
令和5年～現在 (一社)兵庫県理学療法士会 代議員
令和7年10月 第36回兵庫県理学療法学会 準備委員

学会連合及び同連合会員団体活動歴

立候補の趣旨

私はデイサービスにおいて、
生活期リハビリテーションに携わる
理学療法士として現場に立っています。

医療から生活へと移行した後も、
内部障害や慢性疾患を抱えながら
支援を必要とする方は多く、

現場では判断や対応に悩む場面が
少なくありません。

生活期・地域で働く理学療法士の
声を協会に届け、

現場と制度の橋渡しができる
代議員として役割を果たしたいと考え、
立候補いたしました。



氏名 正木 健一
氏名ふりがな まさきけんいち
都道府県士会 兵庫県
年齢 57
勤務先名称 介護ショップ蓮

日本理学療法協会活動歴

平成30年度～現在 日本理学療法士協会 社員（代議員）

都道府県理学療法士（協）会活動歴

平成24年度～令和元年6月 兵庫県理学療法士会 事務局財務部長
令和元年6月～令和3年6月 兵庫県理学療法士会 局長（財務担当）
令和3年6月～現在 兵庫県理学療法士会 理事（事務局担当）

学会連合及び同連合会員団体活動歴

令和3年8月～令和4年6月 日本支援工学理学療法学会 理事
令和4年10月～令和7年6月 日本支援工学理学療法学会 評議員

立候補の趣旨

私たち理学療法士は保健医療福祉の分野において、健康的な生活を送る為に必要な身体機能と生活活動を改善し、参加へのサポートを行う専門家です。また介護予防やスポーツ分野などにおいて、職能を多様に発揮しその活動の場はさらなる広がりを見せています。また行政や他職種からの期待に対し、不断の努力で応える義務があると考えます。

現在私たちが置かれているこのような状況に対し、理学療法士の職域さらに拡大し、期待に応える知識と技術を向上するための研修機能を充実し、職能内外の連携の強化など私たちが抱える課題を達成していくには、県士会員からの意見を細やかに吸い上げ、協会に対し正確に伝えていくことが重要であり、協会及び県士会が有機的な活動を図る役目を担うのが社員（代議員）と考えます。

私は兵庫県理学療法士会で平成13年から保健福祉部員、平成24年から財務部長、局長、理事として士会運営に携わり、また平成30年度より日本理学療法士協会における兵庫県の社員（代議員）として活動してきました。これからも協会と士会とのパイプ役を果たし、あらゆる分野で理学療法士がより一層活躍できるよう、私自身微力ではありますが取り組んでいきたいと考えて立候補いたしました。何卒皆様のご支援をよろしくお願い致します。



氏名 森 明子

氏名ふりがな もりあきこ

都道府県士会 兵庫県

年齢 49

勤務先名称 兵庫医科大学リハビリテーション
学部

日本理学療法協会活動歴

令和2年～令和3年：新型コロナ対策本部理学療法業務等担当（働き方）構成員
令和7年～：母子保健推進リーダー育成カリキュラム検討部会 部員
令和7年～：4年制大学化推進部会 部員

都道府県理学療法士（協）会活動歴

平成18年～平成21年：（一社）兵庫県理学療法士会阪神南ブロック運営委員
平成22年～現在：（一社）兵庫県理学療法講習部 部員
令和5年～現在：（一社）兵庫県理学療法士会男女共同参画推進委員会周産期理学療法士を対象としたガイドライン作成ワーキングメンバー

学会連合及び同連合会員団体活動歴

令和3年～令和6年：日本ウィメンズヘルス・メンズヘルス理学療法研究会 理事長
令和7年～現在：（一社）日本ウィメンズヘルス・メンズヘルス理学療法学会 理事長

立候補の趣旨

この度、初めて代議員に立候補させていただきます。
これまで、（一社）兵庫県理学療法士会講習部の部員としての様々な活動、（一社）日本ウィメンズヘルス・メンズヘルス理学療法学会での活動を中心に、主として学術的側面から職能の発展に尽力してまいりました。エビデンスの構築、診療報酬改定に向けた働きかけ、ガイドライン策定、新たな職域の拡大を目指し、関連医学会等との連携を深化させてきました。理学療法士に対する社会的期待の高さと、今後のさらなる発展の可能性を強く実感しております。
一方で、社会からの期待に応えるための準備状況を踏まえると、指定規則や生涯学習制度に関する課題への対応、着実な職能発展を実現するための多方面にわたる渉外力や組織力の強化は不可欠であると考えます。
理学療法士が対応すべき領域は多岐にわたります。「（公社）日本理学療法士協会」、「（一社）兵庫県理学療法士会」、「（一社）日本理学療法学会連合」はこれまで以上に効果的な連携を図ることで、職能団体としての基盤は一層盤石なものになると信じております。これまでに築き上げてきた基盤を軸に、あるべき方向性を見失うことなく、尽力してまいりたいと思っております。何卒、よろしくお願い申し上げます。



氏名 山本 克己
氏名ふりがな やまもと かつみ
都道府県士会 兵庫県
年齢 69
勤務先名称 一般社団法人 兵庫県理学療法士会

日本理学療法協会活動歴

(公社) 日本理学療法士協会 代議員 平成23年度～
同 理学療法士労働環境委員会委員長 令和3年度～6年度
同 組織・規則等検証委員会委員長 令和7年度～
第47回日本理学療法学会 事務局長 平成24年度

都道府県理学療法士(協)会活動歴

(一社) 兵庫県理学療法士会 事務局長 現職 平成27年度～
第25回兵庫県理学療法学会 大会長 平成25年度
第61回近畿理学療法学会 副大会長 令和3年度

学会連合及び同連合会員団体活動歴

立候補の趣旨

現在、理学療法士が抱えている課題は、医療制度改革や地域包括ケア、多職種連携の確立などの制度やシステムの課題の他、理学療法士数の急増、就業需給バランスの変化に伴う就業条件の変化、賃金体制の整備やワークライフバランスの確立、教育問題など数多くあり、これらの解決を図るには、医療・福祉・介護・教育の各分野での明確なビジョン、企画力、実行力が求められています。
理学療法士の社会的な地位向上と、自らの生活を確保するという至上命題のためには、一丸となって将来の展望を切り開く必要があります、求められるものはさらに高くなってきております。
日本理学療法士協会においても上記の課題に即応できる効率的、機能的な組織づくりと運営体制の構築が必要であり、また国民に対しても自らの地位や有益性を強靱な意志と意見表明ができる職種・団体でなければなりません。
私は長年地域の住民や団体と密接に関係を培ってきた行政経験をいかし、県士会の常勤役員としての経験も生かしながら、組織力強化を図り、上記課題解決に努め、地域包括ケアの推進や、理学療法士の職域の拡大と資質向上、地位向上に努めたいと考えております。
理学療法士がさらなる高みを目指す活動をしていくために、よろしくご支援をお願いいたします。



氏名 畑山 浩志

氏名ふりがな はたやま ひろし

都道府県士会 兵庫県

年齢 48

勤務先名称 洲本市役所

日本理学療法協会活動歴

都道府県理学療法士（協）会活動歴

兵庫県理学療法士会

2009年～2014年度 淡路支部運営委員

2015年～2024年度 淡路支部長

2020年～2025年度 兵庫県理学療法士会代議員

2022年度 兵庫県理学療法士会 第33回兵庫県理学療法学術大会 大会長

学会連合及び同連合会員団体活動歴

立候補の趣旨

「現場の声を政策に、理学療法士の価値を報酬へ」、約30年間の行政経験と約10年間の国事業参画で培った力で、職域拡大と処遇改善に挑みたい。

会員の皆様から「給与が安い」「専門性が正当に評価されない」という切実な声を伺います。私は約30年間の行政勤務、そして約10年間にわたる厚生労働省のアドバイザーや委員として全国20以上の自治体を支援してきました。その中で痛感したのは、理学療法士が地域づくりや健康づくりの核として介在する圧倒的な有効性に対し、社会的地位や報酬が追いついていないという現実です。

「単なる機能訓練の提供者」から、市区町村の事業計画や予算編成に不可欠な「地域共生社会をデザインする専門職」への進化を推進します。厚生労働省の事業で培った知見とネットワークを武器に、エビデンスに基づいた制度改正・報酬改定を働きかけます。ICT活用やフレイル予防の効果をデータ化し、我々の提供する価値を「経済的価値」として国や自治体に提示します。リハビリ室を飛び出し、「困ったときは理学療法士」と一般市民や他職種が真っ先に思い浮かべる社会構造を構築します。

私はこれまで、国の方針策定から市区町村の伴走支援まで、常に「現場」を起点に動いてきました。今度はその経験を日本理学療法士協会の発展のために捧げます。現場の課題を一つひとつ丁寧に拾い上げ、確かな政策として協会に届けます。会員の皆様ならびこれから理学療法士を目指す方が専門職としての誇りを持ち、安心して生活できる未来を創るため、代議員として全力で邁進いたします。



氏名 堀 寛史
氏名ふりがな ほり ひろふみ
都道府県士会 兵庫県
年齢 48
勤務先名称 甲南女子大学看護リハビリテーション学部

日本理学療法協会活動歴

2025年～ 日本理学療法士協会DX及びAI推進啓発推進部会 委員

都道府県理学療法士（協）会活動歴

2025年 第36回兵庫県理学療法学会 副大会長

学会連合及び同連合会員団体活動歴

2022年～ 日本精神心理領域理学療法学会（研究会） 理事
2022年～ 日本理学療法学会連合国際委員・IOPTMH 委員

立候補の趣旨

この度、代議員に立候補いたします。いま必要なのは個別領域の主張ではなく、制度・教育・臨床をつなぎ、全国で再現できる形に整える実装力だと考えます。臨床と大学教育、学術活動の経験を基に、兵庫の現場課題を論点として整理し、協会の意思決定へ確実に接続します。

重点は三点です。第一に、養成から生涯学習までの質保証を、現場の負担と両立して前進させること。第二に、説明可能で安全な理学療法を支える基盤整備を進めること。第三に、会員の声を体系的に回収して代議員総会に届け、根拠に基づく議論を通じて方針と施策の実効性を高めることです。代議員として得た情報は県内へ還元し、参加を実感できる回路を作ります。兵庫の実情を全国の意思決定に反映させます。



氏名 西原 浩真
氏名ふりがな にしはらひろまさ
都道府県士会 兵庫県
年齢 39
勤務先名称 神戸市立医療センター中央市民病院

日本理学療法協会活動歴

なし

都道府県理学療法士（協）会活動歴

2013年 一社) 兵庫県理学療法士会 神戸東支部支部員
2021年 一社) 兵庫県理学療法士会 神戸東支部支部長
2025年 一社) 兵庫県理学療法士会 理事

学会連合及び同連合会員団体活動歴

なし

立候補の趣旨

この度、日本理学療法士協会の代議員選挙に立候補致します西原です。

これまで、兵庫県理学療法士会の神戸東支部支部長、理事として地域に根差した活動を続けてまいりました。多くの県士会会員の皆様と連携しながら、“顔の見える関係”を意識し、急性期から生活期までシームレスな情報連携の実現と、全ての病期に携わる若手療法士の人材育成に取り組んでおります。

この経験を活かし、今後は日本理学療法士協会全体の発展のため、あらゆる患者に対し、全ての理学療法士が科学的根拠に基づき、テーラーメイドな質の高い理学療法を提供できるよう、現場の声を協会へ届け、尽力してまいります。

何卒、宜しくお願い致します。



氏名 山口 良太
氏名ふりがな やまぐち りょうた
都道府県士会 兵庫県
年齢 46
勤務先名称 (株)アールイーコンセプト

日本理学療法協会活動歴

2018年 日本理学療法士協会代議員（現在に至る）
2018年 拡大生涯学習システム検討小委員会委員
2022年 日本理学療法士協会常勤役員要件審査委員会委員
2025年 日本理学療法士協会代議員ネットワーク部会委員

都道府県理学療法士（協）会活動歴

2017年 兵庫県理学療法士会理事
2023年 兵庫県理学療法士会常務理事（現在に至る）

学会連合及び同連合会員団体活動歴

立候補の趣旨

協会の代議員にはどんな役割があるかご存じでしょうか？
1つ目は役員選挙の投票権を持ち、総会では議決権を行使することができる公益社団法人の社員としての役割。
そしてもう一つは、会員の意見を総会に届け、総会で決定された方針を会員に伝える橋渡し役としての役割です。
会員の皆さまが抱える疑問や不安、時には執行部に対する不信感がSNSで散見されることがありますが、それだけでは組織を動かすことはできません。その想いやアイデアを届けるために代議員がいます。
私はこれまでの4期8年の協会代議員の任期において、協会員対象のアンケートやwebミーティングを実施して、会員の皆さまの意見を取りまとめて総会でさまざまな質問をしてきました。特に予算のあり方、役員報酬制度、役員選挙規定などについては毎年質問し続けたことで議論が発展し、制度が改正されるきっかけになったと確信できたこともありました。（まだまだ十分ではないですが・・・）
一方で、ここに至るまでに8年は時間がかかり過ぎたと思います。5期目の立候補となる今回は、次世代の代議員になる方々が何年も経験せずに代議員の役割を果たせるように、受け継げる仕組みづくりにも注力したいと考えています。
会員の皆さまと協会執行部の橋渡し役として、そして、次世代の代議員へも橋渡しができるように取り組んでいく所存ですので、どうかよろしく願いいたします。



氏名 水田 潤史
氏名ふりがな みずたじゅんし
都道府県士会 兵庫県
年齢 46
勤務先名称 リハビリモンスター元町

日本理学療法協会活動歴

2024年～ 公益社団法人日本理学療法士協会 代議員

都道府県理学療法士（協）会活動歴

2015年～2022年 一般社団法人兵庫県理学療法士会阪神南（西宮・芦屋）支部長
2018年 第30回兵庫県理学療法学会 準備委員長
2022年 第61回近畿理学療法学会 事務局長
2023年～ 一般社団法人兵庫県理学療法士会 理事

学会連合及び同連合会員団体活動歴

立候補の趣旨

この度、日本理学療法士協会代議員として2期目の立候補をいたしました。
2023年より兵庫県士会理事として、支部局、社会局（職能部・スポーツ活動支援部）および男女共同参画推進委員会を担当させていただき、多くの方々に支えられながら活動してまいりました。理学療法士の職域は医療・介護にとどまらず、予防、地域、スポーツ、社会参加へと拡がり続けており、国民から求められる役割も年々高度化しています。職能部での議員・行政との意見交換を通じ、職種としての認知は進みつつある一方、その力を社会に十分還元できる仕組みづくりには、まだ課題があると実感しました。6000名近い会員を擁する兵庫県士会において、協会活動を丁寧に確認しながら、県として行うべきこと、行うことができることを整理し、より質の高い理学療法を国民に提供していく必要があります。また、兵庫県で働く理学療法士が制度や環境の変化の中で困ることのないよう、現場の声をすくい上げ、全国へとつなぐ役割を果たしていきたいと考えています。1期目で得た経験の礎に、2期目では行動を重ね、理学療法士が誇りを持ち、「所属していてよかった」と感じられる協会づくりに尽力してまいります。